

(様式2)

指定管理者制度導入施設の管理運営状況【対象年度:平成30年度】

※1～6:所管課記入、7:指定管理者記入、8～9:指定管理者及び所管課記入、10:指定管理者及び所管課記入(実施した場合)

所管部・課	建設部都市・まちづくり課(長野建設事務所)
指定管理者	(公社)長野シルバー人材センター

1 施設名等

施設名	長野県若里公園	住所 電話 ホームページ	長野市若里1丁目1-50 026-226-6950
-----	---------	--------------------	------------------------------

2 施設の概要

設置年月	昭和58年4月	根拠条例等	長野県都市公園条例
設置目的	住民福祉の増進に寄与することを目的として、一般住民にレクリエーション及び文化活動の場を提供するため。		
施設内容	中央広場、大芝生広場、沈床広場、遊具 県立長野図書館(県教委所管) 開園面積:5.8ha		
利用料金	-		
開所日	無休開放		
開所時間	常時開放		

3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
～平成17年度	管理委託	長野市
平成18年度～20年度	指定管理	社団法人 長野シルバー人材センター
平成21年度～23年度	指定管理	社団法人 長野シルバー人材センター(23年度～公益社団法人)
平成24年度～28年度	指定管理	公益社団法人 長野シルバー人材センター
平成29年度～令和3年度	指定管理	公益社団法人 長野シルバー人材センター

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	(公社)長野シルバー人材センター	指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日(5年間)
選定方法	公募(応募者数:1)		

5 指定管理料(決算ベース)

平成30年度(A)	平成29年度(B)	差(A)-(B)	※(A):当該年度、(B):前年度(以下同じ)
12,100千円	12,100千円	0千円	
	増減理由		

6 指定管理者が行う業務

都市公園等(備品等を含む)の維持管理に関する業務及びこれに付帯する業務

7 利用実績等

(1) 利用実績【指標:利用者数・利用件数・稼働率】

(単位:人、件、%)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成 年度(A)													
平成 年度(B)													
(A)/(B)													
増減要因等													

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成 年度(A)													
平成 年度(B)													
(A)/(B)													
増減要因等													

(3) 利用料金見直しの状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有・無	

(様式2)

(4)開所日・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

開所日数	開所時間	見直しの有無	見直した場合はその内容
平成 年度(A): 日	平成 年度(A):	有・無	
平成 年度(B): 日	平成 年度(B):		

(5)サービス向上のため実施した内容

<ul style="list-style-type: none"> ・常駐のシルバー会員による日常清掃作業のほか、手刈り除草班・地域班による大規模な除草・落葉清掃作業を行った。また、シルバー人材センターの会員からボランティアを募り、除草作業の人員を増やし、公園の環境美化に努めた。 ・公園内のトイレ清掃を1日2回行った。 ・植木班による大規模な剪定作業を3回行い、植栽の高さを揃え見通しを良くする等、公園の環境美化及び安全確保に努めた。 ・乗用芝刈り機2台体制による芝刈り作業を年15回行い、芝生広場の整備に努めた。特に芝が伸びる夏場は、2週間に1度のペースで行った。 ・4月～11月の間の毎朝、6時半からのNHKラジオ体操を管理事務所から流し、公園利用の促進とともに公園利用者の健康増進を図った。 ・専門業者による遊具の安全点検を年3回行い、その結果、指摘のあった事項については速やかに修繕を行い、利用者の安全確保に努めた。 ・アンケート箱を設置して、利用者の「意見」を管理棟に掲示し、さらに毎年秋に個人及び団体利用者からアンケートを取った。意見については回答するとともに速やかに改善を図った。 ・修繕箇所が生じた場合、できるだけ迅速に修繕を行った。

(6)その他実施した取組内容

<ul style="list-style-type: none"> ・より多くの園児にチューリップ・スイセンの球根を植えてもらえるよう花壇の数を増やした。 ・AEDの設置に伴い、管理人(会員)に普通救命講習会の受講を義務付け、迅速に対応できるようにした。 ・専門家による講師を招き、ポールウォーキング教室及び早朝ソラヨガ教室を開催し、住民の健康づくりをサポートした。 ・近隣施設の利用者が公園の駐車場に駐車をしないよう施設に周知を依頼した。

(7)利用者の主な声及びその対応状況

<ul style="list-style-type: none"> ・園内がとてもよく整備されている。(芝刈り、除草、清掃業務等、全ての作業の強化を図った。) ・見通しが良く、安全にのびのびと遊べる。(植栽の高さを揃え見通しを良くし、利用者の安全対策を図った。) ・犬の散歩中に糞を持ち帰らない、リードから離すなどのマナーが悪い利用者がいる。(管理人(会員)が、巡回時に口頭注意や看板を設置して周知するとともに、清掃を徹底した。)

8 管理運営状況(実施状況及びそれに対する評価を記入)

※項目は施設の状況に応じ加除修正してください。

項目	指定管理者	所管課	評価
施設の目的に沿った管理運営	協定書、仕様書及び事業計画書に基づいた管理計画に従って、管理運営を実施した。	協定書等に基づき、管理運営を実施したと認められる。	B
平等な利用の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・365日24時間、無料開放している。 ・公園利用においては、利用者に対する迷惑行為がないよう看板での周知をし、万々迷惑行為あった場合はやめるように注意している。 ・バスの駐車可能台数が限られているため、利用月3カ月前の1日(土日祝日は平日)を締め切りとして抽選とし、それ以降については、利用枠に余裕がある場合は、順次受け付けをしている。出来るだけ多く利用できるように、小駐車場の配置を工夫し駐車スペースを確保している。 ・球根植えについて、長野市内114保育・幼稚園に公募し、6園の応募があった。花壇の整備を行なったので、6園を招くことが出来た。27年から公募に切り替えたことから、多くの園児 	園内巡回時における迷惑行為者への対応等、平等な利用の確保ができたと認められる。	B
利用者サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・組織力を生かし、植木班による大規模な樹木の剪定、また地域班及び手刈り除草班による除草・落葉の清掃等を行い、公園の安全確保及び環境美化に努めた。 ・専門業者による遊具の安全点検を年3回(通常年1回)行い、指導のあった部分は速やかに修繕する等、安全管理に重点をおいた。 ・アンケート箱を設置して、利用者の「意見」を管理棟に掲示した。意見については回答し、改善を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園利用者が毎日安心・快適に利用していただけるよう保守点検及び清掃等を実施し、日々サービス向上に努めている。また植栽の管理を積極的に行い、公園全体の景観と安全の確保に努めている。 ・特に利用頻度の高い遊具について安全点検を重点的に行い、安全管理に努めている。 ・利用者の声を適正な公園管理や利用者サービスの向上に反映させている。 	A
自主事業	<ul style="list-style-type: none"> ・4～11月の朝6時半から管理事務所前でNHKラジオ体操を流し、公園利用の促進を図るとともに公園利用者の健康増進を促した。参加者延べ5,297名(1日平均21.9人)。また、終了後に早朝園内パトロールを行った。 ・球根植えについては、長野市内114保育・幼稚園に公募案内をし、6園から応募があった。11月に5園を招いて、花壇にチューリップ・スイセンの球根の植え付けを行った。 ・公園の落葉を園芸肥料用として、一般市民(延べ151名)に無料配布を3回実施(11月25日(日)、12月7日(金)、14日(金))し、好評を得た。 ・明るい雰囲気、安全な公園づくりのため、就業時、ラジオ体操時などに積極的に声かけ運動をした。 ・センター会員が講師になり、住民を対象とした低木の剪定講習会を5月17日(木)に開催し、19名応募、参加者19名、3グループに分かれて剪定実習を行い、公園への関心が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本公園独自の各種事業を展開しており、老若男女、多くの県民が親しみを持てる公園となるよう努めている。 	B

(様式2)

	<ul style="list-style-type: none"> ・専門の講師による、住民を対象としたポールウォーキング教室を5月14日(月)、9月18日(火)、10月15日(月)開催し、参加者28名の健康づくりのサポートが図れた。 ・専門の講師による、住民を対象とした早朝ソラヨガ教室を5月～10月の第1.3.5日曜日朝6時から大芝生広場で開催した。11回実施でき参加者35名の健康づくりのサポートが図れた。 ・北信の小学校、長野市内の幼稚園・保育園長あてに若里公園のはがき案内を171通送付し、社会見学の昼食会場や遠足目的地としての利用促進を図った。 		
職員・管理体制	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書及び事業計画に基づき、会員の配置を行った。 ・必要に応じて就業する会員連絡員を置き、作業の段取りや安全対策を行った。 	・仕様書及び事業計画書に基づく職員配置が行われている。	B
収支状況	・指定管理料収入12,206千円(指定管理料12,100千円、自主事業収益106千円)に対し、支出金額は12,750千円(業務支出12,480千円、自主事業支出269千円)、収支差額は597千円赤字だった。	・限られた指定管理料収入に対し、適正な維持管理が図られた。	B
総合評価	・シルバー人材センターの組織力を活かした作業をした。また従事シルバー会員の生きがいと健康につながった。	・シルバー人材センターの特性を生かした事業や活動を行っており、全体的に適正な管理運営と認められる。	B

- <評価区分>
- A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 - B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
 - C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 - D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	所管課
施設の管理運営の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・公園全体的に老朽化が目立ち、修繕に費用がかかり管理経費(人件費)を抑えなくてはならない状況である。 ・強風による樹木(エンジュの大木)の倒木で、西側駐車場に駐車中の車両に倒れ、一部車両が破損した。倒木の際に近くに利用者が居なかったため、幸い人的被害はなかった。大雨・台風・強風による樹木の倒木対応について、日常の管理の中で注意しているが事前の対策が難しい。 ・樹根が敷設排水管に進入し、トイレ詰りの原因となり度々修繕が必要となっていることから、指定管理者の予算では限界がある。 ・隣接の施設(ホクト文化ホール、隣保会館)の利用者や公園を利用しない者が、公園の駐車場に長時間駐車をしてしまい、駐車場が慢性的に不足し公園利用者に迷惑をかけている。看板や声かけでの周知をしているが、なかなか改善されない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公園施設の安全管理のため、指定管理者にあっては限られた予算の中で、緊急度等を考慮して引き続き迅速に対応していただくとともに、県にあっては指定管理者と連携を図りながら今後も大規模な修繕について順次対応していくこととする。 ・指定管理者と連携を図り、今後も樹齢、樹の高さ等監視しながら、大規模な伐採については、順次対応していく。 ・他の公園で発生した事故の事例等参考にしながら、指定管理者と連携を図り、今後も大規模な修繕について順次対応していく。 ・指定管理者と連携を図りながら、更なる周知や指導を徹底させていく。

10 第三者評価で指摘された事項の管理運営等への反映状況(第三者評価実施年度の翌年度以降に記載)

第三者評価における指摘・意見等	管理運営等への反映状況	
	指定管理者	所管課